

読売新聞記事に関して

イオン葬祭に関する記事が発信されました。寺院の「お布施」についてです。

一見時代に即したように、寺院のお布施金額を明確にする。今まで出来そうで出来なかったこと。

その事については評価できます。しかし、葬儀とは地域密着、宗教家や地域の助け合いによって

成り立つものであり、どれだけの調査・研究がなされたのかは不明です。

例えば『お香典』に明確な金額を決めることが出来るでしょうか？

亡くなった方やその遺族との付き合いによって変わらないのでしょうか？

寺院と檀家さんとで事前に話し合いが出来ていれば、無理に金額を当てはめる事はないと思います。

むしろ明確にする事で、その金額でなければならなくなるのではないのでしょうか？

当社はイオン葬祭さんと提携しています。このコメントは波紋を呼ぶかもしれません。

しかし、私は小田原・箱根の地域の為に、正しい「お葬儀」を提案していきたいのです。

全国展開の葬儀社など、私は要らないと思っています。「お葬儀＝地域力」だと確信しています。

今後とも、地域のことは地域で解決できるように努力してまいりますので、より多くの皆様の声をお聞かせ下さい。宜しくお願いします。

有限会社 イヨダ

代表取締役

伊與田英史